

## 資料提供

平成17年12月19日(月)  
午後2時  
医療整備課長 岡野栄治  
(担当 課長補佐 大津 内線 3189)  
保健予防課長 緒方 剛  
(担当 室長補佐 島田 内線 3217)  
茨城県立中央病院長 大倉久直  
(担当 医事課長 小室  
電話 0296-77-1121 内線 2030)

### 茨城県立中央病院における「アスベスト専門外来」の開設について

アスベスト問題に対する健康対策の一環として、県民の健康不安に対応するため、悪性胸膜中皮腫、肺がん、アスベスト肺などアスベスト関連疾患の診断・治療を行う「アスベスト専門外来」を茨城県立中央病院が開設することとし、本日から予約の受付を開始いたしましたので、お知らせいたします。

アスベスト専門外来は、アスベストによる健康被害のおそれのある方に対し、呼吸器専門の医師が、診断・治療に当たります。

#### 記

- 1 開設時期 平成17年12月21日(水)から  
(予約の受付は、12月19日(月)から)
- 2 診療日 毎週水曜日 午前9時30分から11時30分  
(予約制で、4名程度の診察を行う予定)
- 3 対象者 アスベストによる健康被害のおそれのある方
- 4 受診申込等
  - ・予約制(事前の電話予約が必要です。)
  - ・予約先 茨城県立中央病院 医事課  
電話番号 0296-77-1121(内線2031)  
予約受付時間 平日9:00~16:00
- 5 診療内容  
呼吸器専門医が、悪性胸膜中皮腫、肺がん、アスベスト肺などの関連疾患の診断及び治療を行います。
- 6 診療費用  
保険診療によります。(通常の診療費用が必要になります。)

## 参考

アスベスト専門外来で診察を行う医師は、雨宮隆太がんセンター長（呼吸器外科）と鍋木孝之第一病棟部長（呼吸器内科）です。

アスベスト吸引により発症する悪性胸膜中皮腫の確定診断は、呼吸器内視鏡の一つである胸腔鏡を用いて行われます。

雨宮センター長は、現在、日本呼吸器内視鏡学会の会長であり、平成18年6月8～9日に、筑波の国際会議場で第29回日本呼吸器内視鏡学会全学術集会を行う予定になっております。

胸腔鏡は、外科医が全身麻酔下に行う治療兼検査の手技と、内科医が局所麻酔下に行う検査手技があります。今年千葉で行われた第46回日本肺癌学会総会では、内外の医師が悪性胸膜中皮腫の早期診断には、局所麻酔下胸腔鏡検査が最も有用であることを報告されております。鍋木部長は、本邦の局所麻酔下胸腔鏡検査の指導的な立場にあり、本県内では最も多数の検査を行っております。

アスベスト外来では、胸部CTを撮影し、CT画像上で胸膜肥厚像や胸水、肺内腫瘍が見られた患者さんには、胸腔鏡検査が行われることとなります。